

『税金の大切さ』

村上市立神林中学校 3年
長柄 朝夏 さん

みなさんは「税」といわれるとどのような税の種類を思い浮かべますか。私は「消費税」を思い浮かべます。「消費税」とは商品や製品の販売・サービス提供などの取引に対して広く公平に課税される税で消費者が負担し事業者が納付する税のことを言います。



消費税の他にも税の種類はたくさんあります。所得税や法人税・たばこ税や揮発油税などです。これらは税務署に納められることにより国に納められます。またこれらを国税といいます。国税とは別に地方税というものもあります。それは県民税や事業税・自動車税や固定資産税などです。これらは各県や市町村に納められます。

これらの納めた税金はどのように使われているのでしょうか。

一つ目は教育費です。学校で使う教科書や机・いすの購入・校舎の建設や修理など多くの場面で税金は使われています。国では年間五兆五千五百億円も

の税金が教育費として使われています。

二つ目は医療費です。健康診断や予防接種、高齢者の施設やサービスなどの事業に掛かる費用にも税金が使われています。

三つ目はごみの処理です。ごみの処理には国民一人あたり一年で一万八千七百円の税金が使われています。

この三つ以外にも火災時の消火の助け、災害からの復興、並木や公園などをつくるのにも税金は使われています。

このように私たちの身近で税金はたくさん使われているのです。もし税金を
はらわなかったら。税というものがなくなってしまうたら。今まであたりまえ
に回収されていたごみも回収されなかったり、とてもお金がかかってしまうた
め学校に行けない子どもが増えたりと、あたりまえにできていたことはあたり
まえにできなくなってしまうのです。税金は私たちにとってなくてはならない
ものなのです。税金をはら
うということは生活を豊か
にし、明るくすることなの
です。

